

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日
平成 29 年 3 月 13 日

Table with columns for 事務事業名 (Project Name), 事業区分 (Project Category), 担当 (Responsible Party), 政策体系 (Policy Framework), 予算科目 (Budget Item), and 法令根拠 (Legal Basis). It details the project 'くらしの会助成事業' (Project Support for 'Korashi no Kai') under the '生活安全課' (Life Safety Section).

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table for (1) 事務事業の概要 (Project Overview). It is divided into two main sections: ① 事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ② 担当者が行う業務の内容・やり方・手順. It describes the project's purpose (supporting consumer activities) and the methods used (grant payments, seminars).

Table for (2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移 (Means, Targets, Intentions, and Trends of Indicators). It includes sub-tables for ① 手段 (Means), ② 対象 (Targets), and ③ 意図 (Intentions), each with associated indicators and data from 2017 to 2031.

Table for (3) 投入量 (事業費) の推移 (Trends of Input/Expense). This is a detailed financial table showing expenses from national, prefectural, and local sources, as well as personnel costs, broken down by fiscal year from 2017 to 2031.

Table for 事業費の内訳 (Breakdown of Project Expenses). It shows the 28th fiscal year actual expenses and the 29th fiscal year budgeted expenses, categorized by item like '負担金補助及び交付金' (Grants and Subsidies).

Table for (4) 当該年度の実施内容 (Implementation Content of the Current Year). It outlines the project activities for 2019, 2030, and 2031, with a note that specific activities should be listed in the '29年度' column.

事務事業名	くらしの会助成事業	事務事業No.	40203000699	所属課	生活安全課
-------	-----------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 昭和53年から活動を開始してから、36年活動しており、消費生活を取り巻く状況は、著しく変化している。これに伴い様々な問題が発生しており、問題を効率的に解決していくためには、主体的・合理的に行動することが必要であり、それが可能になるよう支援していくことが大切である。			
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 真壁くらしの会が始まりであり、合併に伴い「桜川市くらしの会」となった。平成26年度までは真壁地区がほとんどで岩瀬地区会員は2名となっていたが、26年度は大和地区も2名加わったが、平成28年度には岩瀬地区で1名加わり、岩瀬地区・大和地区の会員を徐々に増やすことが望ましいとの意見がある。			
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容 <table border="1" style="width:100%"> <tr> <td style="width:20%">改革改善を行う</td> <td>会員一人ひとりが、今まで以上に前向きに活動に取り組むことで活動内容も充実してくるので、今後補助金だけに頼らず、自主財源確保に向けた活動に結びつくと考えられる。</td> </tr> </table>		改革改善を行う	会員一人ひとりが、今まで以上に前向きに活動に取り組むことで活動内容も充実してくるので、今後補助金だけに頼らず、自主財源確保に向けた活動に結びつくと考えられる。
改革改善を行う	会員一人ひとりが、今まで以上に前向きに活動に取り組むことで活動内容も充実してくるので、今後補助金だけに頼らず、自主財源確保に向けた活動に結びつくと考えられる。		

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 様々な知識を習得し情報提供していることで、市民生活の安全安心に過ごせるまちづくりに結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である くらしの会を支援することで、市民に情報の周知により安全安心に繋がる。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 活動を充実を図るため、会員数を増やし活動を活発にすることで成果がでる。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 市民の消費生活安定向上のためにも廃止・休止することで、市外で活動している団体との情報収集の手段が途絶えてしまう。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある 事業については活発に活動していることから削減は難しいが、人件費については、会員で会を進めていくことで削減できる。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 会員が得た情報や知識を市民に提供している。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		⇨																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1" style="width:100%"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持																									
	低下																									
		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果																								
		コスト削減優先度評価結果																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>